



り
り

発行
一般社団法人 双成会
責任者 小竹博久

目次

校長あいさつ	お祝いのことば
クラブ活動・中学校写真	4
中学校の部・高校の部	6
クラブ成績	2
B days・体育祭・球技大会写真	7
6	4
7	5
8	3
	1



卒業生に贈る言葉

和歌山県立日高高等学校長
村岡 宏起

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

これまで皆さんが尽くされた努力と研

鑽を心から讃えたいと思います。

この卒業の喜びは、皆さんのたゆまぬ

努力の結果であることは言うまでもあり

ませんが、皆さんのおことを絶えず気遣い

ながら、支えてくださったご家族と周囲

の方々のお陰であるということを決して

忘れないでください。

さて、皆さんの日高高校・附属中学校

でのこの2年間は、突然のコロナ禍に

よって大きな戸惑いと困難が生じまし

た。あたりまえであつた学校生活を送る

を得なかつたことが残念でなりませ

ん。「三密」を避けることを絶対条件に

しながら、皆さんは学校生活を充実させ

ようと一生懸命取り組みました。オンラ

インでの授業参加や感染防止を徹底した

文化週間や中庭コンサート、体育祭やス

ポーツ大会、中学校は修学旅行の行き先

も変更するなど、何ができるか、どのよ

うにすれば良いのかを考え、知恵と工

夫によって柔軟に新しい形の学校生活を

送つてきました。

しかし、このような困難のあつた学校

生活も、大きな経験となつて皆さんのこ

れからの人生を生き抜く鍵となつていく

ことを願つてやみません。

また、この3年間を共に過ごした多く

の友人は皆さんにとっての大きな財産で

す。高校生は、これからそれぞれが活躍

する世界は大きく広がり、今までのよう

にすぐには会うことはできないかもしれません

が、何かの時には助け合える同窓生

になつて欲しいと思います。また、中学

生は引き続き日高高校生として更に友情

を深めて欲しいと思います。

来年4月1日から成人年齢が18歳に引

き下がります。明治時代初期に20歳と

定められて以来、146年ぶりの大改革

です。大人になれば、社会生活の様々な場面

で、自分の意志によって選択・決定がで

きるようになります。半面、大人としての責

任が生じます。スマートフォンを買

う、クレジットカードを作るといった契約で保護者の同意が必要になります。しかし、一方でカードローンで重い債務を負つたり、悪徳商法の被害にあつたりす

る危険があります。裁判員として、人を裁く場に係わることを求められることもあるかもしれません。6年前に選挙権があるかにも関わることを求められることもあるかもしれません。18歳以上に拡大されたのと同様に、若者たちに早く社会的な役割を果たしてもらいたいという思いから、即ちの改革です。みんなは今後、社会に参加するための心構えをしっかりと持つて、的確な判断をしてほしいと思います。

さて、皆さんは2014年に17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユザイさんのことを覚えていましたか? 彼女はイスラム主義組織タリバンに制圧されたパキスタンで、「子どもの権利」女性教育の大切さを訴えました。下校途中、イスラム武装勢力に銃撃され、生死の淵をさまよいながら奇跡的に回復。その後も開発途上地域を初めとする「苦境に置かれている子ども、特に女子が教育を受ける権利と教育の大切さについて世界に訴えています。大変な状況にあっても、何度も打ちのめされても自分の信念を信じ、行動を続ける彼女の行動力の源はどうあるのかと考えたとき、やはりそれは強い意志と社会に対する希望であると言えるのではないかでしょうか。

高校を卒業し、大学や専門学校へ進学して、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となる人、中学を卒業し、新たな気持ちで高校生活のスタートを迎える人、皆、これからの新しい生活において、自分に対する希望、学ぶこと・働くことに対する希望、社会に対する希望をしっかりと持つて、それに向かつて努力してください。

高校を卒業し、大学や専門学校へ進学して、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となる人、中学を卒業し、新たな気持ちで高校生活のスタートを迎える人、皆、これからの新しい生活において、自分に対する希望、学ぶこと・働くことに対する希望、社会に対する希望をしっかりと持つて、それに向かつて努力してください。

「夢があり、それを実現させる意欲は繁荣の原点である」という言葉があります。夢や目標がないところには、ビジョンや計画もなく、行動もなく、行動がなければ、成果も成功もありません。志をしつづけないと持つて、これからの人をたくましく歩んでください。

皆さんのが描くそれぞれの夢と目標の実現の途中には失敗や挫折もあるでしょう。それでも皆さんには大丈夫です。

この日高高校・附属中学校で歯食いしばつて頑張つて過ごした日々を思い出してください。

皆さんを支えてくれている人たちのことを思い出してください。

卒業生の皆さんのおよぶたる前途が健やかで、幸多からんことを心から祈念しています。

三年生になり、二度目の分散登校。リモートでの授業が行わされました。この頃はもう休みが嬉しいという感情ではなく、早く友達に会いたいといふ気持ちが強かったです。その中、高校生活最後の行事である体育祭は、みんなが全力で楽しみ、最後まで悔いなくやりきったのだと思ひます。三年間の大半を、ここまでコロナに振り回されるとは思つてもみませんでした。「私達の青春を返せ!」と叫びたいところですが、修学旅行に行けたこと、また色々なことが制限されながらも、みんなで楽しく過ごした何気ない日常は一生忘れません。「小さな思い出も積もれば大きな思い出になる。」私はそう思つています。

3年3組 八田乙櫻

「みんなさんが卒業すると思うと、寂しい気持ちもありますが、それぞれにとつてこれからが新しい一步の始まりと思えば、夢と希望に満ち溢れているので、心の底から『卒業おめでとう』を言いたいと思います。」「常に向上心を忘れるな！」

心に優しさと強さを持つ！

というは、私自身が恩師から贈られた言葉で、何かあると常に頭の中をよぎる言葉です。人として、人を思う優しさと何事にも立ち向かう強さを、今後さらに磨いていくことを忘れずに過ごしていくことです。

またいつかみなさんに会えることを楽しみにして……その時にはさらには成長した姿が見られることを期待していきます。

3年4組担任 中井 保奈見

コロナがなかつたら……と考えたことはたくさんあつたけど、三年間、最高に楽しかつたです。最高の思い出をありがとう。

3年4組 滝本 愛樹

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。授業や学校行事、クラブ活動などを通して、多くの時間を皆さんと共有することができ、とても刺激的で充実した毎日でした。

特に担任をさせてもらったクラスは、三年間を通して明るく前向きなクラスであつたため、S.H.R.や授業へ行くことが、とても楽しみでした。「どんな場面も楽しんだ者勝ち!」そういう姿勢で何事にも全力で取り組む姿が印象的で、笑いの絶えないクラスの雰囲気が大好きでした。常に笑顔で愛嬌があるところが皆さんの最大の強みだと思っています。

これから的人生、嬉しいことや楽しいことよりも、辛いことや悲しいことの方が多いかもしれません。それでも、「笑顔と愛嬌」という最大の武器を持つている皆さんなら、どんな未来も切り開けると信じ、これからもずっと応援し続けます。

3年5組担任 小谷 研悟

最高の仲間がいるから。
この三年間は最高の三年間でした。
この三年間の思い出は一生の宝物です。
この先の未来も、トレジャーハン
ントしていこうと思います。これか
ら無限に広がる未来に向けて、全力
で羽ばたこうぜ！

たくさんのお友達がたくさんできました。一年生の時には、修学旅行で台湾に行き、忘れる事ができない程の思い出がたくさんできました。しかし、修学旅行の後には、新型コロナウイルスによる休校という最悪な思い出ができてしましました。その為、一年生は呆気なく終わりを迎えたのです。

二年生の始まりは、四月からではなく六月からの分散登校でした。いきなりだつたので、クラスの半分以上が顔も名前もわからないという状況でした。通常授業が再開してもマスクの着用、ソーシャルディスタンスなどの縛りがあり、とても大変な学年でした。そんな中で、球技大会や文化祭(ESSBS)は行うことができてとても楽しい思い出を作ることができました。

3年5組 森口 菜々子

5級のみならず卒業おめでとう
分散登校初日に出会いはてから約二年
コロナの影響で行事は少なかつたけど、みんなとの日々の関わりが最高
の思い出です。勉強・クラブ活動
生徒会活動など様々な場面で活躍して
いるみんなの担任がてきて、本当に楽しかったです。みんなの人生の一
部に関わることができて、本当に幸
せでした。これから的人生、選択
しなければいけない時が何回もある
と思います。簡単に選ぶのではなく
しっかりと考へ、時には人を頼り、後
悔しない選択をしてくださいね。最
高の二年間を本当にありがとうございました。

3年6組担任 中本清文

三年生は普通に始まり、気付けば受験生になつていました。そんな中で再びコロナによつて、夏休みが約週間延長、さらに二学期のスターが分散登校、リモート授業、お弁当の時間は前を向いて黙食など、縛りがきつくなりました。そんな中でも今まで通りの生活を送れて、思い出も残せるように先生方は色々と考へてくれました。

三年間を振り返つてみると、勉強や部活動に力を入れたこと、体育祭などでクラス一丸となつたことなどは様々な出来事がありました。その中で私たちとは、楽しいこと、苦しいこと乗り越えるべきこと、時には諦めるべきこと、更には普段感じている当たり前はすぐに崩れてしまうということなどを学んだと思います。

私たちとは、この三年間で経験したことや学んだこと、先生方や家族の支えがあつてここまで来れたといふことをこの先も忘れずに、明るい未来を目指して頑張っていきます。

3年6組 中 未那美

高校に進学した時は、部活動や新しい友達に出会えることが楽しみで、これから楽しい高校生活が始まることをわくわくしていましたが、気づけば卒業まであと少しとなり、あとは三年間でした。

改めて高校生活を振り返ってみると、私の三年間はつらいこともありました。しかし、それ以上に楽しいことが多く充実したものでした。部活動ではプラスバンド部に所属し、先輩方や後輩たちにも恵まれ、同級部員とともにガールズトークをしたり、楽しいことと悲しいことも共有し、メンバ

のおかげで部活の青春を存分に味わえた気がします。しかし、新型コロナウイルスの影響でここ二年間の学校行事は中止になつたり規模を縮められたり、高校の思い出と言えるものが例年に比べて少なかつたようになります。しかし、そんな中でも球技大会や体育祭、有志の中庭コンサートなどコロナ禍であつても楽しめるようなイベントが開催され、その中でクラス内の絆はもちろん、クラス外でも友達同士の友情をより深められたと思います。

これを書いている今、本当に高校生活が終わってしまうんだと実感しています。6組は本当に個性の豊かなクラスだつたけれど、それが6組らしさであつて、なんだかんだ6年間一緒に過ごしてきて楽しかったし、それがなくなると思うと少し寂しいです。普通科のみんなともっと一緒にいたいです。そして今までお世話になつた中学校、高校の先生方本当にありがとうございました。最後に、3年生のみんなへ。みんなのおかげで最高に楽しい高校生活になりました。それそれ進路が違つて、全員が集まることはもうできないかも知れないけれど、いつかまた思い出話で盛り上がりがれる日が来ることを祈っています。

贈ることば

附屬中在校生代表
2年A組

附屬口石林生石表
2年A組

卒業研究の発表では、元となる

日高高校生徒会

日高高校生徒会 会長

長地圖

でどうぞ

こさいます。これから的是三年生のみなさんが思ふと、在校生一同寂しき。

個々の目標に向かつて三年生のみなさんが輝いていく姿を楽しみにしています。また、機会があれば日高高校に足を運んでください。たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。

附属中学校





